

乾燥肌も漢方薬でアプローチ！



毎年冬になると乾燥が気になる方は多いのではないのでしょうか。

実は対応できる漢方薬がありますよ。

乾燥肌ですが、**原因は血虚(けっきょ)**というものですよ。

血(けつ)という栄養物質が肌にまで届いていない、もしくは、そもそも足りなくなっているという状態のことです。

届いていないのだから、健康な肌にはならず、刺激に対してすごく弱くなってしまうんですね。

このような場合には「**当帰飲子(とうきいんし)**」を使います。

血を補う力が強く巡らせることのできる「四物湯」をベースにして、痒みを抑える生薬などが入っていますよ。

血虚による乾燥肌に使うものですから、肌荒れやアトピーであっても、真っ赤かになってジュクジュクしたものには対応しません。

俗に言う、**粉がふいている状態のものや、**

高齢者では、肌が茶褐色になっているような状態に使えます。

また、温まると痒くなる、夕方から夜に悪化する、疲れや無理をすると悪化する特徴がありますね。

更に詳しく言うと、**血虚の中でも「肝血虚(かんけっきょ)」**なんですね。

ですので、肝血虚で出る症状が一緒に出てくる方もいらっしゃいますよ。

寝ている時に足がつる、目が乾燥する、精神症状や不眠などですね。

ご存じの通り、五臓は他の四臓と互いに影響し合いますから、

肝にだけ特化する「治療」だけではなく、「予防と養生」を考えて、

キョーレオピンを足してあげると良いですね。おすすめは**ファイブ**です。しかも、単体でやるよりも治りが早くなると思いますよ。

痒みというと、症状のない方からすれば

大した事ではないように思われるかもしれませんが。

しかし、症状がある方は確実にQOL(生活の質)が低下します。

悩んでいる方はぜひハシドラッグでご相談くださいね。



クラシエ 当帰飲子

「当帰飲子」は「血虚」の基本方剤とされる「四物湯」を含んだ処方、乾燥した肌のかゆみを改善させます。あまり体力がない、冷え症の人に向くとされる薬です。